

平成30年度 九州地方整備局管内の活用件数の多い新技術(発注者指定型)

●平成30年度に発注者指定型*3として活用された延べ新技術数143件、全77技術の新技術は以下のとおりです。

発注者指定型における活用件数の多い新技術(平成30年度)

旧実施要領での技術の位置付け

順位	NETIS登録番号	技術名	副題	工種	有用な技術※1 (平成31年3月末現在)
1	QS-110002-VE	アジャストーン	砕石場の副産物を規格化するとともに、コンクリート塊の再利用を促進した材料である	共通工	活用促進技術
2	CB-080011-VG	エポガードシステム	錆転換型防食塗装	道路維持修繕工	
3	KK-090019-VE	レジン製軟質点字タイル	視覚障がい者誘導用レジン(アクリル樹脂)製軟質点字タイル	付属施設	活用促進技術
4	QS-120024-VE	改良芝品種「エルトロ」・「ピクトール」を用いたロール芝工法	維持管理コストを抑えた上での良質なターフの形成	共通工	
4	QS-130018-A	Fe石灰ライト	泥土・発生土土質改良材	土工	
6	KT-070009-VG	ALiCC工法	低改良率セメントコラム工法	共通工	
6	QS-130016-VE	固まる簡易舗装材 カタマSP	鉄鋼スラグを用いた散水・転圧で固まる簡易舗装材	舗装工	活用促進技術
6	KT-140109-VE	見えるアンカー	グラウンドアンカーの緊張力変動を表示板と針の動きで表示する技術	共通工	
9	KT-080004-VG	乾式ワイヤーソーイング工法	切削用冷却水を使用せず、汚泥も発生させないワイヤーソー切断工法	共通工	
9	HR-100013-VR	支承の若返り工法	金属溶射を使って既設鋼製支承の防錆力を向上させ、同時に潤滑性防錆剤を注入する工法。	道路維持修繕工	
9	QS-100022-VE	Gコロム工法	軟弱地盤処理工(スラリー攪拌工)	共通工	活用促進技術
9	TH-140012-A	ジオシンセティックス液状化変形抑制工法(SECURE-G工法)	ジオシンセティックス+砕石挟込みによる盛土の液状化対策工法	土工	
9	QS-150035-A	雑草アタックス土系舗装材	竹短繊維補強材入り環境型土系舗装材	舗装工	
14	KK-070006-VG	キャプロア(caproa)	景観に配慮したアルミニウム合金製橋梁用ビーム型防護柵	付属施設	
14	SK-070011-VG	監視員通路縦壁付くけい水路	トンネルの工期短縮を可能にする矩形断面水路に監視員通路用の壁を一体化させた水路	共通工	
14	TH-090014-VR	塗装のコスト・工期・環境負荷を削減できる中塗上塗兼用塗料「ユニテクト30SF」	ふっ素樹脂塗料の中塗と上塗に比べ耐候性が優れるシリコン変性エポキシ樹脂中塗上塗兼用塗料	橋梁上部工	
14	KT-090023-VE	テラセル擁壁工法	ポリエチレンのハニカム構造による擁壁工法	共通工	設計比較対象技術 活用促進技術
14	KK-100009-VR	N-SSI工法	「塩分吸着剤」による高防錆型断面補修工法	道路維持修繕工	
14	KTK-100011-A	OPTジェット工法	低排泥低変位噴射攪拌工法	港湾・港湾海岸・空港	活用促進技術
14	CG-110022-VE	「省力化かご工」ハイパーマット多段積型	耐久性・施工性に優れた亜鉛アルミ合金先めつき溶接金網で構成されるかご工	共通工	
14	KT-120008-VE	コンパクト ストッパー (KCS)	橋梁用の上揚力対応型水平ストッパー	道路維持修繕工	活用促進技術
14	CG-120025-VR	超薄膜スケルトンはく落防災コーティング	透明特殊コーティング材とガラス連続繊維シートの含浸接着による、透けて見えるコンクリート構造物のはく落防止機能(繊維シートを使用しない場合は小片はく落防止機能)付き表面保護工法	道路維持修繕工	
14	KT-120052-A	SPチェーン(チェーン式落橋防止装置)	鋼材の塑性変形を利用したエネルギー吸収機能を有するチェーン式落橋防止装置	橋梁上部工	
14	KT-130009-VR	シリケートガード	コンクリート表面の緻密化により劣化を抑制し耐摩耗性を向上させるけい酸塩系表面含浸材	道路維持修繕工	活用促進技術
14	QS-170017-A	セル型グラベルマット	合成繊維製グラベル充填マット	河川海岸	
14	CB-170019-A	VERTICAL PANWALL(バッチカルバンウォール)	垂直壁を構築する地山補強土工法	共通工	
27	KK-070008-VG	抵抗板付鋼製杭基礎(ボールアンカー100型)	道路標識柱及び道路照明柱用基礎	基礎工	
27	CB-070009-VG	共和式覆土(客土)ブロック	連結・張TYPE護岸工法(突起型)	河川海岸	
27	HR-070023-VG	ワイヤーネットワーク工法	寒暖差によるワイヤロープの張力の変動を解消するテンションバー(張力維持装置)を備えた落石の発生源対策工	付属施設	
27	SK-080003-VG	コンクリートひび割れ低減用ネット「ハイパーネット60」	耐アルカリ性ガラス繊維ネットを用いたコンクリート構造物のひび割れ低減技術	コンクリート工	
27	CB-080003-VG	ウィードコート工法	抜根除草等の維持管理を不要にする工法	道路維持修繕工	
27	SK-080012-VG	土留部材引抜同時充填注入工法	仮設土留部材引抜き時の地盤変位抑制工法。	仮設工	
27	KT-080031-VG	耐候性大型土のう【TK/バック】	大型土のう工(国土交通省土木工事積算基準)	仮設工	
27	KK-080047-VG	耐候性大型土のうGBバッグ	耐候性を向上させた土木用の大型土のう	仮設工	設計比較対象技術
27	QS-090004-VE	WILL工法(スラリー揺動攪拌工)	中層混合処理工法	共通工	設計比較対象技術 活用促進技術
27	HK-090006-V	立体ジオグリッド・ジオウェブ工法	法面保護軽量法枠工	共通工	設計比較対象技術
27	SK-090009-VE	「垂直擁壁」ポラメッシュ	ポーラスコンクリートブロックと特殊金網とで構築される、排水性に優れた垂直擁壁	共通工	
27	KT-090011-VE	コンクリートの充填検知システム「ジュートンダー」	振動デバイスによるコンクリートの充填管理および締固め管理	コンクリート工	

※1 有用な新技術とは

●**推奨技術**:公共工事等に関する技術の水準を一層高めるために選定された画期的な新技術

●**準推奨技術**:公共工事等に関する技術の水準を一層高めるために選定された画期的な新技術で、推奨技術と位置づけるためには更なる発展を期待する部分がある新技術

●**設計比較対象技術**:技術の優位性が高く安定性が確認されている新技術

●**活用促進技術**:特定の性能又は機能が著しく優れている、または特定の地域のみで普及しており、全国に普及することが有益と判断される新技術

●**少実績優良技術**:技術の優位性が高いとの評価は得られているものの直轄工事等における実績が少なく技術の安定性が確認されていない新技術

※3 発注者指定型とは

直轄工事における現場ニーズ、行政ニーズにより必要となる新技術を発注者の指定により活用する型。

注)NETIS登録番号の末尾が「-AG」及び「-VG」の技術はNETIS掲載期間終了技術

平成30年度 九州地方整備局管内の活用件数の多い新技術(発注者指定型)

●平成30年度に発注者指定型*3として活用された延べ新技術数143件、全77技術の新技術は以下のとおりです。

発注者指定型における活用件数の多い新技術(平成30年度)

旧実施要領での
技術の位置付け

順位	NETIS登録番号	技術名	副題	工種	有用な技術※1 (平成31年3月末現在)
27	CG-090024-VE	うるおんマットスタイブ	コンクリート平面や傾斜面に対する潤滑・保温養生マット	コンクリート工	
27	KT-090048-VE	回転式破砕混合工法による建設発生土リサイクル技術	建設発生土を再利用して浸透に強い築堤土や盛土材を製造する工法	土工	準推奨技術 活用促進技術
27	KT-090052-VG	パフェグアウト工法	さまざまな構造物の維持補修に適用可能な空洞・空隙充填工法	トンネル工	
27	QS-100008-VR	ニュースパンガード	コンクリート構造物の劣化を防止する一液性シラン系表面含浸材	道路維持修繕工	設計比較対象技術 活用促進技術
27	HK-100009-VE	クラウド・アイ	GPSを利用した建設現場車両向け遠隔管理システム	土工	
27	KK-100025-VR	無機系コンクリート浸透改質材「リフレバセツトD70」	中性化抑制性、遮塩性を高めてコンクリートの耐久性を向上させる表面保護材料	コンクリート工	
27	KT-100028-VE	リモートコントロールシステムを用いた効率的な測量システム	リモートコントロールシステムと電子野帳プログラム及びモータードライブータルステーションを組み合わせた測量システム	調査試験	
27	HK-100037-VE	KB目地Jタイプ	鉄筋固定式コンクリートひび割れ誘発目地材	コンクリート工	
27	KK-100117-VE	タフタイト	コンクリート・モルタル用ひび割れ抑制ファイバー	コンクリート工	
27	QS-110006-VR	FAボックス	セグメントプレキャストコンクリート製斜角大型ボックスカルパート及びウイングウォール	共通工	活用促進技術
27	CB-110014-VE	コンクリート保水養生テープ	コンクリート表面の緻密化と強度向上に寄与するテープ	コンクリート工	
27	CG-110017-VR	リハビリシリンダー工法	亜硝酸リチウムを併用したコンクリートひび割れ注入工法	道路維持修繕工	
27	TH-110020-VE	小径NSエコパイル工法	高さ制限や狭路地への対応が容易な無排土・回転杭工法	基礎工	準推奨技術 活用促進技術
27	KT-110039-VE	トリグリッド	樹脂製の補強材と独自開発の溶接金網とを組み合わせたジオテキスタイル補強土壁工法	共通工	
27	KT-110052-VR	クリアクロス工法	含浸により透明になる特殊ビニロクロスを貼り付けることで、コンクリート片のはく落を防止する機能と下地の視認性を持ち合わせた工法	道路維持修繕工	活用促進技術
27	KT-110054-VE	スパイラル型内部振動機	螺旋状の凹凸により締固め性能を向上させたコンクリート用内部振動機	コンクリート工	
27	CB-120011-VE	鋼構造物溶接接端部の疲労強度向上工法	既設橋溶接部に対するニードルピーニング工法	橋梁上部工	活用促進技術
27	QS-120021-VE	SERミッター	プレハブ型の橋梁用変位制限構造	道路維持修繕工	
27	QS-120023-VE	省合金二相ステンレス鋼(NSSC2120・ASTM S32304)	ダム・堰・水門・排水機場などの河川内施設に使用されている従来鋼(SUS304またはSUS316L)と比較して、高強度・高硬度・高耐食の特徴を持つ省合金二相ステンレス鋼	機械設備	
27	HK-120028-VE	プラクトフェンス	コンクリート基礎、足場工が要らない斜面直角設置型小規模落石防護柵	付属施設	
27	KK-120043-VE	アーチドレン工法	トンネル・ボックスカルパート・共同溝などの漏水対策工法	道路維持修繕工	活用促進技術
27	KK-120047-VR	含浸系表面保護材「プロテクトシルBH N」	塗重ね可能な高浸透タイプのシラン系コンクリート表面保護材	コンクリート工	
27	KT-120047-AG	V-JET工法	大口径化と高速施工を可能にした高圧噴射攪拌工法	共通工	
27	KT-120115-VE	速硬性混和材「Facet」	生コンクリート工場出荷型 速硬コンクリート用混和材	コンクリート工	
27	QS-130006-A	SW可変深溝側溝	可変深溝側溝	共通工	
27	KT-130010-VE	フル・ファンクション・ペーパー(FFP)	防水機能や凍結抑制機能を併せ持つ多機能型排水性舗装	舗装工	
27	CB-130011-VR	トーコンプラス工法	老朽化モルタル吹付対策工法	共通工	
27	QS-130031-A	ポンプエアシェルター	大雨、洪水、津波などの冠水時にポンプ・モーターの水没を防止する、ポンプ一体型カバーユニット	建築設備(電気)	
27	KT-130065-VE	無機質けい酸塩系含浸材「ポルトガードレクサス」	散水養生が不要なけい酸塩系(ナトリウム・カリウム・リチウム混合型)含浸材	コンクリート工	活用促進技術
27	SK-140002-A	ブロックガード工法	落石・雪崩・崩壊土砂対策工法	付属施設	
27	TH-140015-A	NINJAパネル	全面緑化可能な地山補強土工法用リサイクルプラスチック製独立受圧板	共通工	
27	KK-150063-A	ジオ・ステップ簡易階段	施工性・品質の向上に寄与するリサイクルプラスチック階段	付属施設	
27	KT-150068-VE	スマートパッチ	コテで施工可能な段差修正材	道路維持修繕工	
27	KK-160001-A	かご丸くん	円筒状の金網とチェーンを用いた施工性および耐久性に優れたかご工	共通工	
27	KK-160009-A	クリアフロー工法	大口径矩形きよ更生工法	共通工	
27	KT-160043-A	パイオハクリX-WB	鋼構造物用水系塗膜剥離剤	道路維持修繕工	
27	QS-170016-A	ESCON受圧板	ESCON(超高強度合成繊維補強コンクリート)を用いたグラウンドアンカー工法用プレキャストコンクリート反力体	共通工	
27	QS-170020-A	SGめっきSP	1浴目へのニッケル添加で、合金皮膜を安定化させた高耐食性めっき	道路維持修繕工	
27	QS-180012-A	エポコラムTaf工法(地中障害物混在地盤対応地盤改良工法)	地中障害物混在地盤においても施工可能な地盤改良工法	共通工	

※1 有用な新技術とは

●**推奨技術**:公共工事等に関する技術の水準を一層高めるために選定された画期的な新技術

●**準推奨技術**:公共工事等に関する技術の水準を一層高めるために選定された画期的な新技術で、推奨技術と位置づけるためには更なる発展を期待する部分がある新技術

●**設計比較対象技術**:技術の優位性が高く安定性が確認されている新技術

●**活用促進技術**:特定の性能又は機能が著しく優れている、または特定の地域のみで普及しており、全国に普及することが有益と判断される新技術

●**少実績優良技術**:技術の優位性が高いとの評価は得られているものの直轄工事等における実績が少なく技術の安定性が確認されていない新技術

※3 発注者指定型とは

直轄工事における現場ニーズ、行政ニーズにより必要となる新技術を発注者の指定により活用する型。

注)NETIS登録番号の末尾が「-AG」及び「-VG」の技術はNETIS掲載期間終了技術